

*The Gentle
Brother*

優雅な友



グレース・クツクの序

本書はホワイト・イーグル・ロッジの団員に、イーグル霊が語った言葉の抜粋です。特に日常生活で精進する人々への指導助言の中から選ばれています。この「優雅な友」の抜粋は、永い間、機関誌「ステラポラリス」でも一番愛好されたものでした。それで、たくさんの方々からまとめて出版したらどうか、ポケット版とか、枕頭の書のようにして出したらどうかとすすめられていたものです。

ホワイト・イーグルには、個人的な質問に、たちどころに照準を合わせるような技術がありまして、直ちにぴったりした聡明で役立つ答えが返って来るのです。永い間、イーグル霊は多数の人たちの友でした。彼の声をご存知の方はあの優雅な話しぶりを、威厳のある声で思い出されましょう。彼の英知の基本は世界の聖典にあります、特にキリスト教の四福音書にあります。

ここにホワイト・イーグルの書を世に送ります、イーグル霊の愛と祝福をこめて。

第1章

善意を持ちなさい

できれば一人一人の方に話したい気持です。我らには皆さん以上に、皆さんの個人的な悲しみや重荷や心配事が分かっています。皆さんは個人的な小さな雲の中にいます。皆さんは友や家族を欲しがっておいでだ。おそらく皆さんは淋しいのだろう、だからもつともつと心の中でも生活の中でも、愛が実るよう実現するようにと望んでおられるのだろう。おそらく皆さんは挫折感を感じ、自分ではできると思っている靈的な仕事ができないことを感じておいでだ。こういう思いや感じは、つまらぬもので、折々身のまわりにかかる大きな雲のようなものです。

我らには自分たちの過去の経験からして、また今後の皆さんのありようからしてちゃんと分かっております。もし、たとえばですよ、皆さんの両手を父であり母である神の御手の中に置いてみなされ。父なる神は貴方の片手を取られ、母なる神は貴方のもう一つの手を取られましょう。ここに父と母と貴方との三者の輪ができます、その時、光が貴方の人生を照らすのです、貴方の恐怖はここに消えましょう。後になって皆さんにはきつと分かります、あの黒雲には銀の裏打ちがしてあったと。思うことはここに成り、幸福と奉仕とがありますよ。

しかし覚えていただきたいことは、神はお急ぎにはならないということです。皆さん、我々は神の歩調に合わせねばなりません。忍耐をもってせねばなりません。もし我らが辛抱しなかつたり、よい潮時を無視したり、逃げ出して別の楽しみや享樂に目を向けるようなことになる、とんだ時間の浪費をすることになります。というのは、もう一度同じ事を繰り返す破目になるのです、我らが辛抱と魂の静寂の教訓とを、もう一度学び直さねばならぬその地点まで後戻りしてです。

しかしながら、我々が感謝と信をもって定められた道を、もし「ひたすら守り、これ守りつづけねば、我らは果報を得るでしょう、その事は成りましよう、世間が与え得ない果報を手にし、俗世が取り去り得ない平和を手にできるでしょう。



こうして我らが地上に来て皆さんと共に在る間は、我々は皆さんの生活や思いや悲しみと一緒にあっております。しかし、我らが靈界に戻る時、我々は皆さんのそういうものを一緒

にもつては行きません。その代り、我らは幸福と愛とを皆さんにもつてきます。

我らができる限り、皆さんがこの調和と真実の世界へと、入り込んでこられるよう望みます。皆さんがその世界に浸されるようにです——スポンジは浸されると、水で一杯になります。ああいう具合にです。皆さんはその高い世界の光と調和で満ち満ちましよう。されば暗黒は皆さんに何の力も振るい得ません。

多くの聖者たちは、たとえ生活は比較的貧しくても、莫大な幸福を知っておりました。地上世界には、心の中の神の愛ほど重大なものはありません。いざ肉体を去れば、皆さんの後には物質的なものは何一つ残りません。その時、皆さんの心が愛と平和で満ちておれば、皆さんは天界に入ります。だが、心が空しく不満と不幸であれば、皆さんは天界などには入れません。これすなわち、主が心中の神の愛ほど重大なものは何もない、と申しておられる、あれです。物質世界の物事はすべて過ぎ行くものです。それは消えます、それは重要ではないのです。ただ内在の光に、静穩に心を集めなされ、靈の喜悦にです。その時あなたにはすべてのものがあります。